

教えて

枚方市駅周辺再整備 Q&A



Q

広大な市有地を手放して、民間に開発を委ねる（民間活力の導入）ことで、まちの魅力は高まるのでしょうか。

A

- 貴重な市有地を活用すべきことがたくさんあるにもかかわらず、手放して民間開発を誘導するというのなら、どんな開発なのか、目的や内容、意義、実現可能性や持続可能性などが市民によほどしっかりと説明されなければなりません。
- 高度利用のできる地区に対する民間デベロッパーの開発意向は**タワマンであることは明らか**で、土地区画整理事業もそれを前提にしていると考えられます。タワマンの誘致でまちの魅力は高まらないどころか**「負の遺産」**になりかねません。

Q

老朽化した危険建築物が増えています、市役所新庁舎はいつできるのですか。

A

- ⑤街区の新庁舎整備（計画案）の場合、都市計画決定及び事業認可が2026（令和8）年度までに行われた場合、**2034（令和16）年度の供用開始**を市は想定しているようです。
- ④街区の新庁舎案の場合は、国・府と確認した方針から大きく変更となるため、大幅に遅れると答弁していますが、**市有地の中での段階的な庁舎移転になるので、早急に進めることが可能**です。

Q

DXが進み、行かなくていい市役所になることが本当に望ましいのでしょうか。

A

- 市役所庁舎は、届け出や手続きをするための単なるオフィスではなく、**自治の拠点**です。市民が「来る・集う・対話する」ための場であり、市民のもとへ出向く「アウトリーチ」拠点でもあります。手続きの簡素化・効率化の検討は必要ですが、DXに対する幻想には要注意です。
- **災害対応の拠点**でもある市庁舎は、**防災機能を有する大規模公園と隣接**させ、さまざまな活動が有効に展開できるようあらかじめ準備しておくことが大切です。

Q

枚方市駅周辺にさらに商業施設を増やして、本当に活性化するのでしょうか。

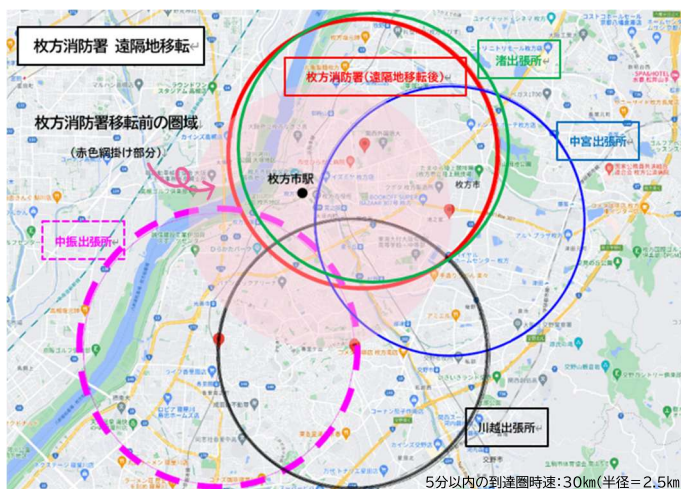
A

- 枚方市駅前市街地再開発事業（サンプラザ1～3号館）、岡本町市街地再開発事業（ビオルネ）も厳しい経過でした。
- ③街区の市街地再開発事業（枚方モール）の評価はこれからになりますが、民間活力で、④街区のさらなる商業集積・賑わい創出は**「時代遅れの発想」**ではないでしょうか。

現市庁舎のある④街区の約86%（20,000㎡）は市有地です。④街区内で市庁舎を更新すればよいのに、ここを民間事業者が開発させたいから、枚方市役所庁舎は⑤街区の旧北河内府民センター跡地に移転する。**市庁舎の⑤街区移転に固執**するから、枚方消防署庁舎及び訓練施設に必要な敷地面積を確保できないので、現在地から約2km離れた旧中宮北小学校跡地に**遠隔地移転**する。消防力の適正配置上、合理性を欠く**ダブル移転のごり押し**は、まちの安全や住民のいのちよりも民間開発を優先する判断になっているのではないのでしょうか。

現在位置から移転すると、現枚方消防署がカバーしている圏域は**すっぽりと抜け落ち**、移転後の圏域は現出張所の圏域と重複します。中南部・南西部地域における救急体制の増強は喫緊の課題です。高層建築物も増え、滞留人口も増えた中心市街地や、淀川河川エリアでは、消防力のさらなる向上が求められます。枚方消防署の遠隔地移転は、これら地域の消防・救急・救助対応力を著しく弱体化させてしまいます。

現在地隣接の⑤街区の市有地・公有地等を枚方消防署及び訓練施設の移転候補地として整備できるよう、早急に検討するべきであると考えています。



奥野みか ホームページ・フェイスブック
～皆さまのご意見・ご要望もお聞かせください～
<https://okuno-mika.com>
<https://www.facebook.com/mika.okuno.338>



▲全員協議会映像

